

古代アメリカ研究会

会報

No. 4

CONTENTS

古代アメリカ研究会役員会

古代アメリカ研究会第3回総会

古代アメリカ研究会研究発表会

新入会員名簿一覧

事務局からのお知らせ

1998年7月

古代アメリカ研究会役員会

1998年5月17日(日)に、第3回総会を前にして、東京大学教養学部14号館407教室にて、役員会を開催しました。主な議題は、会誌の編集報告等5項目です。

出席者：大貫良夫(会長)

中村誠一(代表幹事)

渡部森哉(事務幹事代行)

多々良 穰(監査委員)

高山智博(運営委員)

杓谷茂樹(運営委員)

関 雄二(運営委員)

馬瀬智光(運営委員)

委任状：八杉佳穂(運営委員)

柳沢健司(監査委員)

役員11名の内、10名出席の扱いとなったため、役員会が成立した。

1 編集報告(関)

原稿は97年中に集まったが、編集作業は1月から始めた。

費用は200部で184,800円となったが、編集作業を業者に依頼すればもっと高くなる。

論文のコメント、それに対するリプライは時間の都合上、掲載することができなかった。

会誌編集は、入力などに手間がかからないよう、原稿段階での準備を徹底する努力が必要である。

2 会費について

福武財団からの補助金がなければ、97年度の収支は赤字であり、会誌費用も含め、次年度の総会で会費の変更をはかるべきである。

3 役員交通費について

97年度は、福武財団のお金があったため支給できた。しかし、今後とも遠方の役員には出張をお願いせざるを得ないので交通費補助は支給すべきである。

4 新規会員について

後述の新規会員13名について、役員全員から承認された。

5 新役員選挙について

選挙管理委員として、井口、村上両氏にお願いする。

同じ人を複数の役員候補として記名しないこと、再選及び空欄は有効とすることを決定した。

事務幹事は大学の研究室から出すことが望ましいという意見が大勢であった。

次回以降は、代表幹事は誰と投票するのではなく、役員全体として誰々と選出することにした。

古代アメリカ研究会第3回総会

1997年5月17日（日）に、東京大学教養学部12号館1212教室において、第3回総会を開催しました。

開催時の会員数は73名で、内、総会出席者24名、委任状提出者24名の合計48名の参加により、総会の定足数（本研究会会則第19条）を満たしておりましたので、議事を進行しました。主な内容については以下のとおりです。

1 「100名に満たない小さな会ですが、原動力となる若い人が多く、より活発な会にしていきたいと考えております。活発な会は単に会員が多いというだけでなく、レベル的にも世界に通用するものを目指していきたいのです。」との会長の挨拶ではじまりました。

2 本総会の前に行われた役員会において、新規会員13名を承認した。

3 会誌の創刊号が完成したが、今回は論文に対するコメント、リプライの掲載や書評を載せることも出来なかったため、次回に回したい。

創刊号の予算については、本会の会計と別扱いになっていて、200部印刷して合計184,800円になった。会員が73名と少数であるため、1部2,000円で販売することになった。

4 1997年度決算報告について

(1) 会計報告について

予算額の欄が空白であるのは、昨年の総会で報告済みのため。全会一致で了承された。

(2) 監査報告

決算書並びに、帳簿、領収書等を監査したところ、正確に記入、整理されていることを証する旨、監査委員の多々良から報告されたので、全会一致で承認された。

5 1998年度予算案を事務幹事代行の渡部が朗読の上、会員の拍手で承認された。

6 役員会の報告について（大貫会長）

98年度予算では交通費補助40,000円となっていたが、赤字が出る可能性がある。会誌代については、会員全員が購入したとしても、1部2,000円では赤字がでる。今後、会誌代を含め、年会費を設定した方が予算を立てやすいので、会費変更の是非を次期役員会で検討することを了承して頂きたい。

また、97年度予算では、補助金がなければ約8万円の赤字がでるため、会費を千円値上げし、会誌代を含めて年会費5千円とすることが適当であると考えていることを報告した。

7 新役員選挙

選挙管理委員として、井口欣也、村上達也氏を会員の拍手で承認の上、任命した。

8 本総会の議事録の内容についての署名人として、大平秀一、坂井正人氏の両名を拍手で承認の上、任命した。

10 選挙結果

投票総数27票でその全てが有効であった。結果は以下の通りとなり、任期は2年間である。

会長 大貫良夫 20票（次点 加藤泰建）

代表幹事 中村誠一 15票（次点 関 雄二、杓谷茂樹）

事務幹事 渡部森哉 8票（次点 徳江佐和子）

監査委員 多々良 穰 17票、柳沢健司 15票（次点 馬瀬智光）

古代アメリカ研究会研究発表会

第3回総会后、5組の方々から最新の研究成果を発表して頂きました。発表者と発表題目は以下のとおりです。なお、発表内容は当日配布された『古代アメリカ研究会第3回研究発表会資料』に掲載されております。

- 1 神殿に見るアンデス形成期の諸地域の関係ー建築に注目した編年からー
芝田幸一郎（東京大学大学院）
- 2 北部マヤ低地の編年再考ー古典期終末期／後古典期前期を中心にー
村上達也（東京大学大学院）
- 3 建造物からみたティワナク社会の変化に関する試論
土井正樹（総合研究大学院大学博士課程）
- 4 チョンゴヤッペの発掘からー特に銅冶金についてー
松本亮三・横山玲子・斉藤秀樹（東海大学）
- 5 ペルー南部海岸、ピスコ谷における一般調査報告
馬瀬智光（京都市埋蔵文化財調査センター）

新入会員名簿一覧

5月17日の役員会、及びその後の役員間の連絡で以下の方々の入会が認められました。

[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]

事務局からのお知らせ

・会費、会誌について

まだ98年度の会費を納入していない方は以下の口座にお振り込み下さい。また、会誌「古代アメリカ」が完成しました。1冊2000円です。購入希望の方は郵送料（1冊240円、2,3冊390円）を含め、下の口座にお振り込み下さい。その際、通信欄に会誌購入希望とご記入下さい。

振込先：10070-67349651 古代アメリカ研究会

・新しい運営委員は大貫会長の希望で、以下の方々をお願いすることになりました。

会報担当：馬瀬智光 渡部事務幹事が補佐する

編集担当：関雄二，杓谷茂樹

広報担当：高山智博，八杉佳穂

編集後記

古代アメリカ研究会の第3回研究会で発表して頂いた内容は、基礎研究から編年論・社会変化論、さらに最新の発掘成果など非常に多岐に及ぶものでした。いつも思うことなのですが、学生の方々からの積極的な質問がないことが気がかりです。今後はより一層、若手研究者や学生を中心とした活発な議論を期待しております。

また、『会報』は会員の情報交換の場です。ご意見や、各地での研究会の発表内容等の最新情報を会報担当までお知らせ頂ければ幸いです。

発行 古代アメリカ研究会

発行日 1998年7月11日

編集 馬瀬 智光・渡部森哉

古代アメリカ研究会事務局

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学教養学部

電話：

FAX：

郵便振替口座：10070-67349651